



森づくりは、未来の子供たちへ きれいな水をプレゼントすること

シラカンバの会

代表 福井 直之さん（西町）

学校の先生を退職してから、森づくりセンターで3年間森林サポート活動を通して森づくりを修得し、森林ボランティア「シラカンバの会」を立ち上げる。

楽しみながら森づくりをしているのですね

退職後、社会に貢献することで何か無いかと考えているときに、森づくりセンターが森林サポーターを募集していることを知り、やってみようと思いました。

研修中は、森づくりセンターの方がとても親切に対応してくれたおかげで、木を見分ける方法など必要な知識を分かりやすく勉強することができました。

シラカンバの会は「木に触れて林と遊び 森と育つ」をテーマに、当別の町有林の一角に「げんきの森」と名付けたフィールドで活動しています。

種から育て、森に移植して良質の木材になるまで自分たちで除間伐や下刈り作業を行い、管理しています。去年は、出産や結婚などの記念

として記念植樹をしたり、弁華別中学校の生徒に枝払いなどを通して森林学習をしてもらいました。

今年は、かんじきを自分たちで作り、冬山の散策をする新しいメニューも考えています。

このほかにも山菜取りやきのこ汁、木炭のオブジェ作りなど、自然の恵を使って楽しむことも企画しています。

森は、私たちの生活に直接影響があるのですね

このまちには、道民の森をはじめとして、広大な森林が広がっています。この森が、自分たちの生活にどのように役立っているのかを知ること、とても大切なことだと思います。

樹には、たくさんの栄養分が含ま

れており、森林から出る水は農作物を作るのに欠かせないばかりか、生活に直接影響を与えます。

この活動を通して分かったことなのですが、森づくりは、100年先の子供たちのためにおいしい水を作っているのだと気づきました。

この会の会員は、札幌市の人が多く、地元である当別町民は会員の1/3しかいませんが、これからは、このげんきの森をたくさんの町民の方に利用してもらえるように活動しようと考えています。

5月になると、今まで眠っていた森が一斉に活動を始め、緑に覆われます。

みなさん、月に一度森づくりに汗を流し、森の恵をいただきませんか。

楽しい企画が盛りだくさん
「シラカンバの会」会員募集中
連絡先 福井さん（☎23 - 4751）

人の動き 4月1日現在 ()は前月との比較

人口	19,749 人	(124人減)
世帯	7,722 世帯	(55世帯減)
男	9,669 人	(59人減)
女	10,080 人	(65人減)



今月の表紙

4月1日から「当別町コミュニティバス」がスタート。出発式では、お年寄りから子供までたくさんの町民がつめかけ、バスの誕生を祝いました。

家族や友人と一緒に、バスで町内を巡るのはいかがでしょうか。